



2016年3月期 決算説明会資料

2015年4月1日～2016年3月31日

株式会社マンドム
(証券コード 4917)



目次

1. 2016年3月期 通期連結業績概要
 2. 連結売上高
 3. 連結段階利益
 4. 事業推進の概況
 5. 第11次中期3ヵ年経営計画(MP-11)進捗状況
 6. 2017年3月期 通期業績見通し
- 参考資料

1. 2016年3月期 通期連結業績概要

(単位：百万円)

	通期					
	2016/3期	2015/3期	増減額	同期比	前期レート 換算比	計画比
売上高	75,078	70,925	4,153	105.9%	104.4%	100.1%
営業利益	6,594	6,996	▲ 401	94.3%	—	101.5%
経常利益	7,415	7,595	▲ 180	97.6%	—	101.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,383	4,425	1,957	144.2%	—	104.6%

ROE	11.0%	8.3%
EPS	273.04円	189.28円

配当性向	29.3%	40.2%
------	-------	-------

■ 売上高と親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を更新

2. 連結売上高

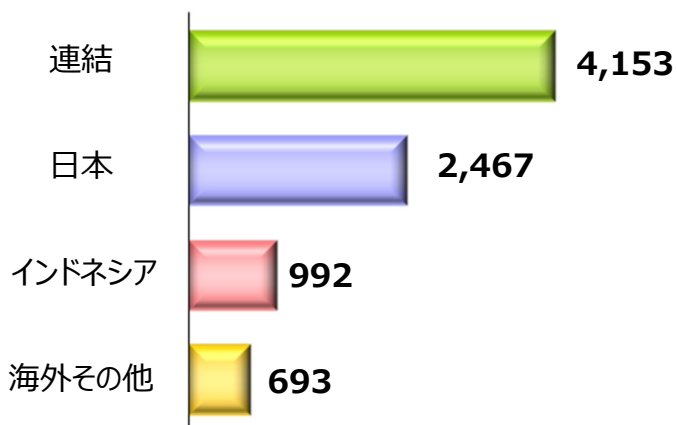
2-1.所在地別売上高

(単位：百万円)

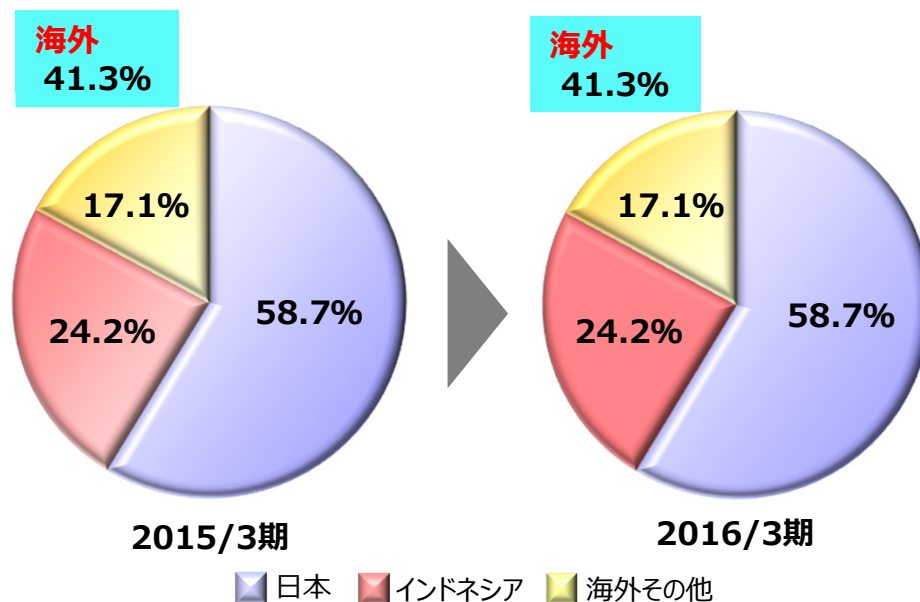
	通		期	
	2016/3期	2015/3期	増減額	同期比
売上高	75,078	70,925	4,153	105.9%
日本	44,104	41,637	2,467	105.9%
インドネシア	18,164	17,172	992	105.8%
海外その他	12,809	12,115	693	105.7%

2-2.所在地別売上高 同期増減額内訳

(単位：百万円)



2-3.所在地別売上高 同期構成比推移



2. 連結売上高

2-4. 事業別売上高

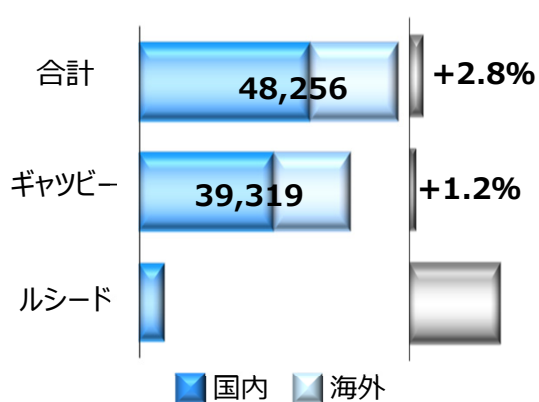
(単位：百万円)

	通		期	
	2016/3期	2015/3期	増減額	同期比
売上高	75,078	70,925	4,153	105.9%
男性グーミング事業	48,256	46,955	1,300	102.8%
ギャツビー	39,319	38,837	481	101.2%
女性コスメティック事業	10,884	8,381	2,503	129.9%
女性コスメタリー事業	8,167	7,790	377	104.8%
その他事業	7,770	7,798	▲ 28	99.6%

男性グーミング事業

2016/3期実績

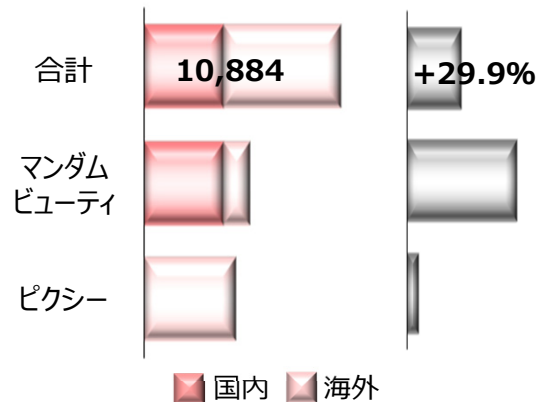
伸長率



女性コスメティック事業

2016/3期実績

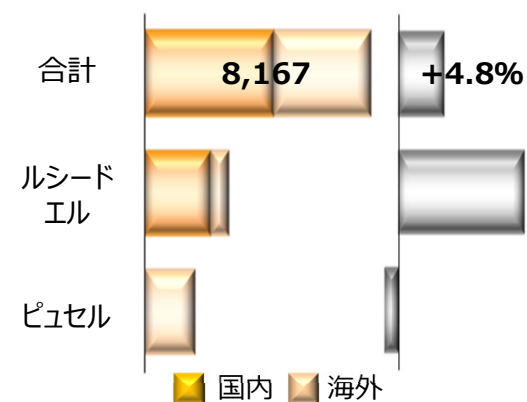
伸長率



女性コスメタリー事業

2016/3期実績

伸長率



3. 連結段階利益

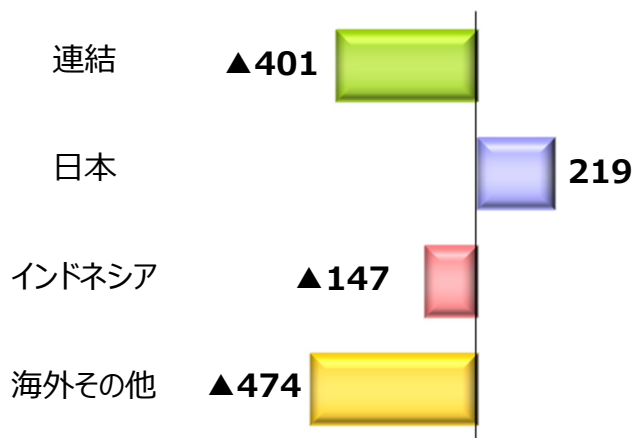
3-1.所在地別営業利益

(単位：百万円)

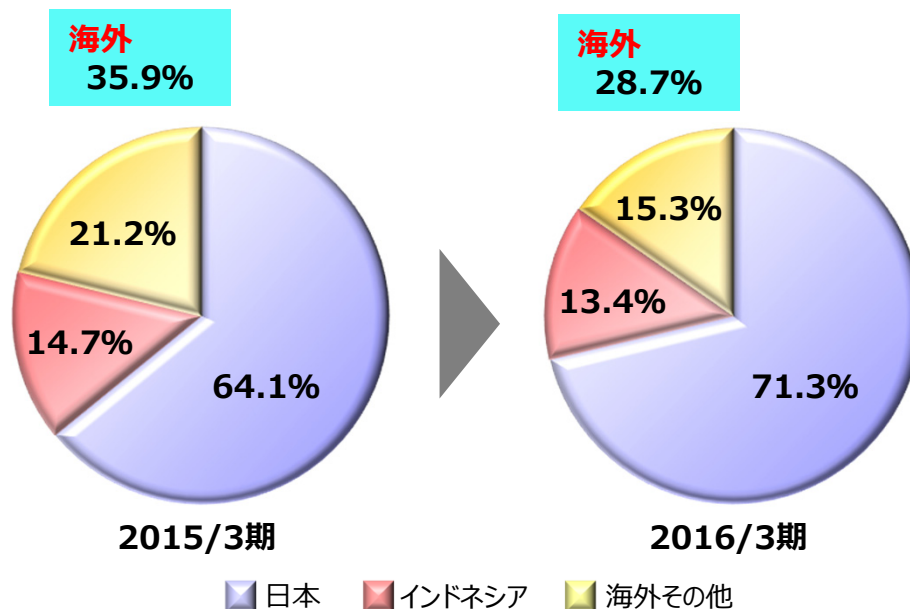
	通 期					
	2016/3期		2015/3期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業利益	6,594	8.8%	6,996	9.9%	▲ 401	94.3%
日本	4,704	10.7%	4,485	10.8%	219	104.9%
インドネシア	880	4.8%	1,028	6.0%	▲ 147	85.6%
海外その他	1,008	7.9%	1,482	12.2%	▲ 474	68.0%

3-2.所在地別営業利益 同期増減額内訳

(単位：百万円)



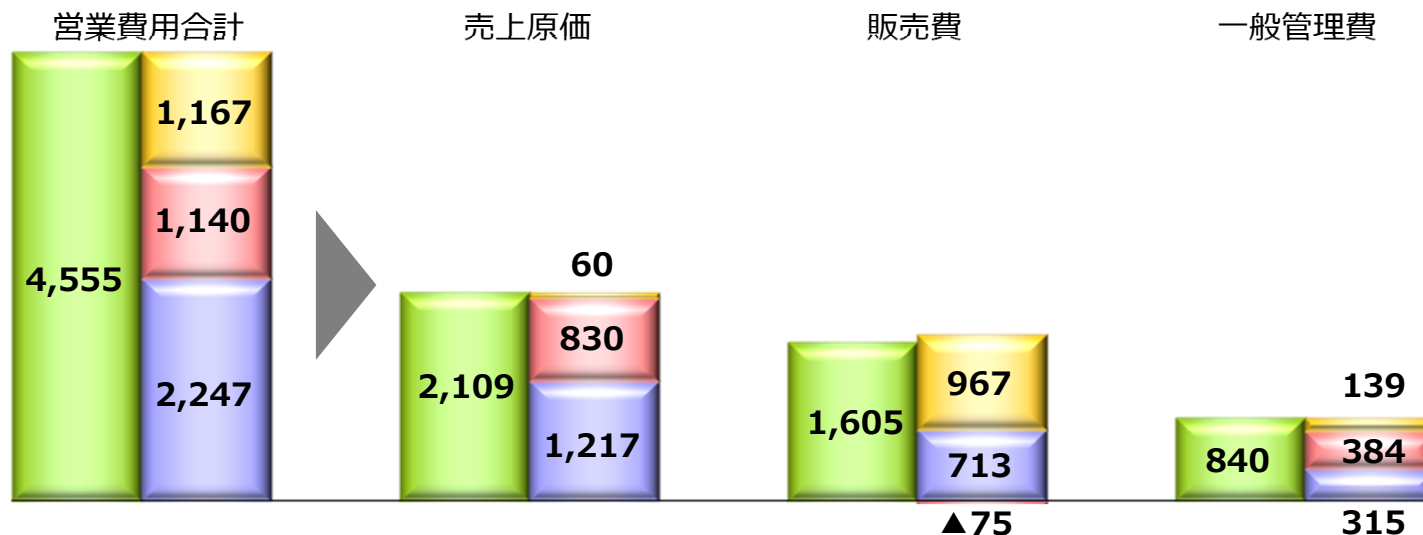
3-3.所在地別営業利益 同期構成比推移



3. 連結段階利益

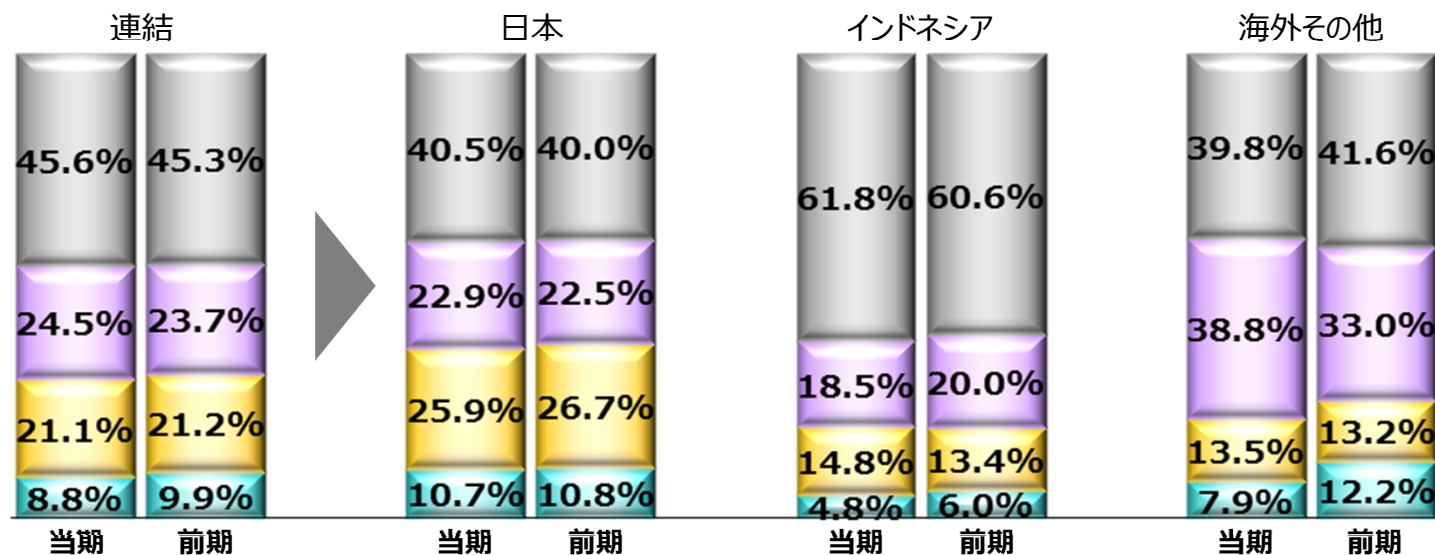
3-4. 営業費用実績 同期増減額内訳

■ 連結 ■ 日本 ■ インドネシア ■ 海外その他 (単位：百万円)



3-5. 営業費用・営業利益 対売上高比率内訳

■ 売上原価 ■ 販売費 ■ 一般管理費 ■ 営業利益



3. 連結段階利益

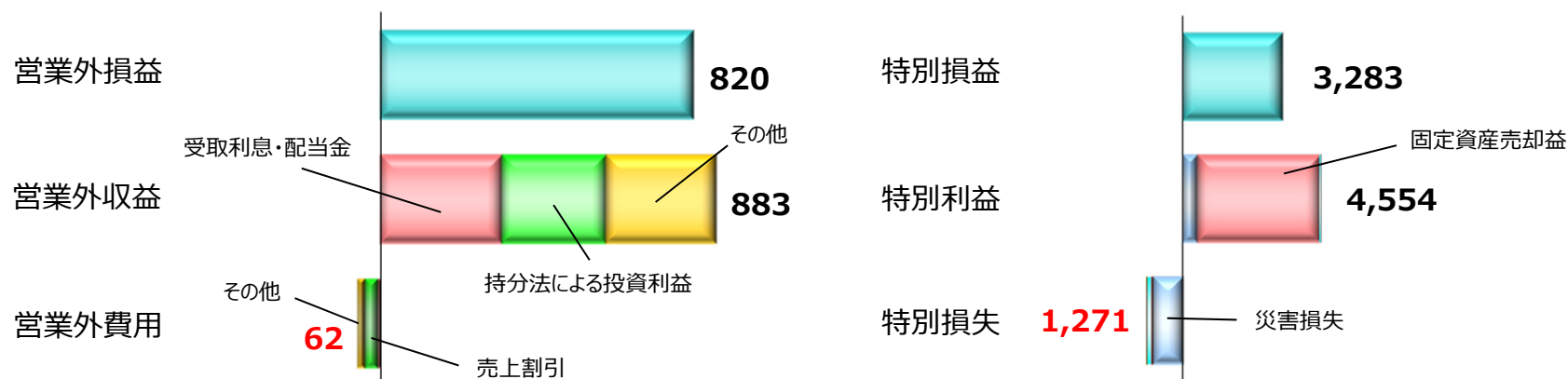
3-6. 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)

	通 期					
	2016/3期		2015/3期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業外損益	820	1.1%	599	0.8%	221	136.9%
経常利益	7,415	9.9%	7,595	10.7%	▲ 180	97.6%
特別損益	3,283	4.4%	▲ 66	▲0.1%	3,350	▲4922.7%
税引前純利益	10,698	14.3%	7,529	10.6%	3,169	142.1%
法人税等	2,380	3.2%	2,519	3.6%	▲ 138	94.5%
当期純利益	8,317	11.1%	5,009	7.1%	3,308	166.0%
非支配株主に帰属する当期純利益	1,934	2.6%	584	0.8%	1,350	331.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,383	8.5%	4,425	6.2%	1,957	144.2%

3-7. 営業外損益・特別損益内訳

(単位：百万円)



4. 事業推進の概況

日本

売上高事業別構成比



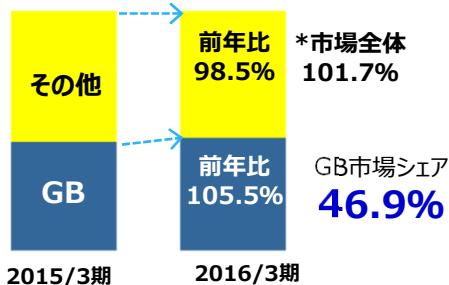
男性グルーミング事業

GATSBY

2015年秋発売の“ツヤ感・まとまり”重視スタイルに対応した「スタイリンググリース」が順調に市場定着。

※マンダム算出市場データ

男性ヘアスタイリング剤市場推移(4-3月累計)



※男性ヘアスタイリング市場におけるマンダム全体シェアは63.8%。

スタイリンググリース



LÚCIDO

「ニオイケア」シリーズは、新バージョンのTVCMを投下。加えて、「スキンケア」シリーズ、「スタイリング」シリーズも商品をリニューアルし、順調に売上を拡大中。

mandom

スカルプケアサブリ

将来の薄毛不安を抱える、20代、30代向けの新提案商品「スカルプケアサブリ」を新発売。新たな市場の掘り起こしを狙います。



女性コスメティック事業

Mandom Beauty

インバウンドの影響を受けて売上が伸長しているバリアリペア「シートマスク」、ビフェスタ「うる落ち水クレンジングシート」は福崎工場にあらたに生産設備を導入し、急激な需要拡大への対応を図っています。

バリアリペア
シートマスク



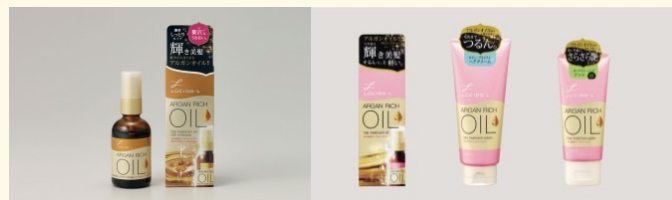
ビフェスタ
うる落ち
水クレンジングシート



女性コスメタリー事業

LÚCIDO-L

主力商品の「ヘアワックス」、「ヘアミルク・クリーム」が順調に推移しているのに加え、「オイルトリートメント」シリーズが実績拡大に大きく貢献。



オイルトリートメント

4. 事業推進の概況

インドネシア

売上高事業別構成比



男性グルーミング事業

GATSBY

【スタイリング】

主力のウォーターグロス、火災事故の影響により供給が不十分な期間があったものの、堅調に売上を拡大。さらに、ヤング男性向けの、NEW「ポマード」が順調に売上を拡大。



ウォーターグロス

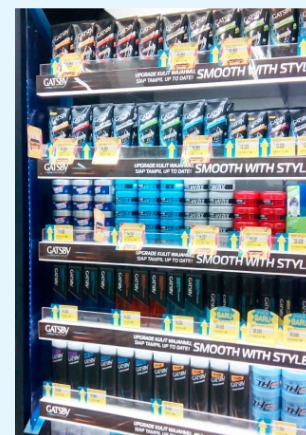


スタイリングポマード

【フェイス&ボディ】

■ フェイスケア
主力の「スキントニック洗顔」シリーズは実績を拡大。

■ ボディケア
主力商品である「アーバンコロン」が堅調に推移。12月にはミニサイズを発売し、更なる使用者拡大を図る。



店頭ギャツビー商品

女性コスメティック事業

PIXY

9月より、『PIXY Perfect Surprise Campaign』スタート！
「Two Way Cake」を中心に強化中。

街頭でのインパクトが強力な屋外広告



女性コスメタリー事業

Picelle

新シリーズ「PinkMe」の取り扱い店舗を精力的に拡大中

ピュセル商品
(前列左3品が「PinkMe」)



4. 事業推進の概況

海外その他

売上高事業別構成比



男性グルーミング事業

GATSBY

「ギャツビー スタイリンググリース」海外各国へ水平展開
2015年8月に日本で発売した「ギャツビー スタイリンググリース」は、9月にシンガポール、10月には台湾、韓国とスピーディーに水平展開が行われています。初期動向も好調です。



シンガポールでの駅通路広告



同 バスラッピング広告



同 エスカレーター広告

女性コスメティック事業

Mandom Beauty

“水クレンジング” ビフェスタ アジア各国へお役立ち拡大中
日本において、“水クレンジング”として生活者に支持をいただいているビフェスタ「うる落ち水クレンジング」シリーズが、アジア各国でも人気となっています。各国でそれぞれ独自のマーケティング施策を展開しています。



台湾の街頭体験イベント



韓国のビューティ番組にて紹介



タイのトレインラッピング広告

【新会社情報（ベトナム）】

海外で12番目の現地法人Mandom Vietnam Company Limitedが11月より営業活動をスタートし、本格始動しました。

5. 第11次中期3ヵ年経営計画(MP-11)進捗状況

MP-11 2年度進捗状況

当初計画からは下ブレ

マンダムインドネシアの事故の影響による売上高目標の未達成にともない、収益性も目標未達成

成長性

マンダムインドネシア事故の影響により、当初掲げた2年度目標は未達成

連結売上高

MP-11最終年度目標 830億円

2年度実績 750億円

収益性

売上高目標未達にともなう減収と、フィリピンにおける流通対策費用大幅投下により未達成

連結営業利益

MP-11最終年度目標 86億円

2年度実績 65億円

株主還元

マンダムインドネシアの旧本社・工場の売却という特別要因が発生。

連結配当性向

MP-11 3ヵ年継続目標 40%以上

2年度実績 29.3%

MP-11 最終年度見通し

当初計画に対し1年遅れの進捗

マンダムインドネシアの成長回帰と、海外その他の成長を維持し、当初計画は1年後達成。

成長性

3事業のさらなる推進。およびマンダムインドネシアの2ケタ成長性回帰(現地通貨ベース)により、増収を図る

連結売上高

目標未達成の見込み

最終年度見通し 768億円

収益性

海外は積極的なマーケティング投資を継続。国内は費用の効率的投下に努め、営業利益額の拡大を目指す

連結営業利益

目標未達成の見込み

最終年度見通し 74億円

株主還元

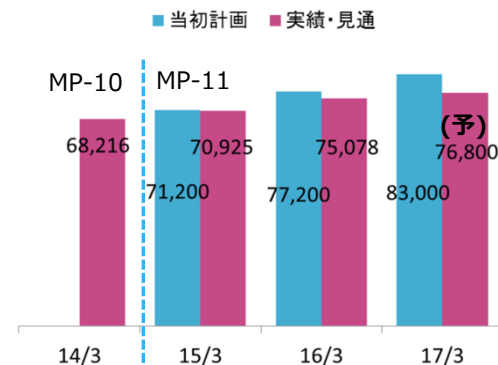
安定的かつ高水準な株主還元を継続

連結配当性向

目標 特別な要素を除いた連結ベースでの40%以上を確保

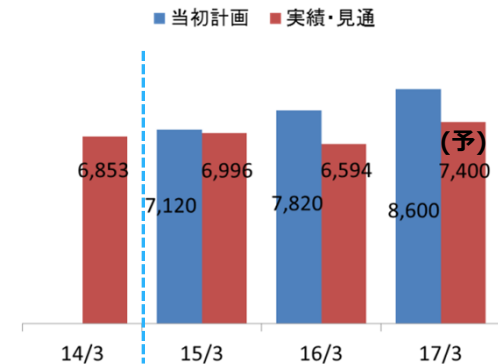
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



5. 第11次中期3ヵ年経営計画(MP-11)進捗状況

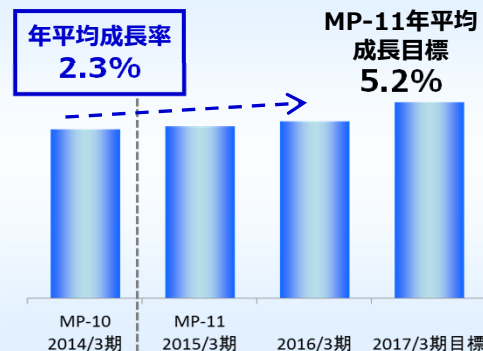
男性グルーミング事業

コア事業として持続的成長を図り、
男性化粧品市場における
カテゴリーシェアの
維持・拡大を目指す

2年度進捗状況
日本の夏シーズン品の伸び悩み

最終年度見通し
目標未達の見込み

男性グルーミング事業 目標及び実績



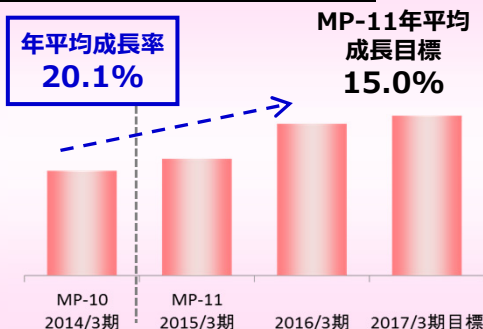
女性コスメティック事業

「スキンケア」「ベースメイク」
カテゴリーに重点化し、
展開各国に合わせたラインアップで
アジアにおける展開スピードの
アップを目指す

2年度進捗状況
国内・海外とも「ビフェスタ」が大きく伸長

最終年度見通し
目標達成の見込み

女性コスメティック事業 目標及び実績



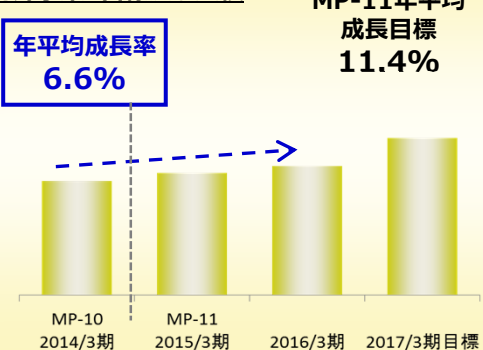
海外事業

主力市場である「インドネシア」への
取組強化による規模拡大と、「中国」
「インドシナ」での流通網構築など
育成市場での基盤づくりを目指す

2年度進捗状況
インドネシア火災事故、フィリピンの過剰
流通在庫対策の影響を受けて伸び悩み
中国、タイ（インドシナ管轄）は好調

最終年度見通し
目標未達の見込み

海外事業 目標及び実績



6. 2017年3月期 通期業績見通し

6-1. 2017年3月期 連結業績予想（計画）立案の前提

増収の前提

- + 海外における積極的なマーケティング投資による「ギャツビー」を中心とした男性グルーミング事業の継続的成長
- + 新規分野開拓も含めた日本における男性グルーミング事業の安定的成長
- + 女性コスメティック事業の強化による高成長継続
- + 「海外その他」を中心とした海外事業の成長性確保
- 為替(現地通貨安)の影響による海外売上高の円換算額減
- 天候不順による、日本国内夏季シーズン品の売上下ブレ

増益の前提

- + 増収効果による増益
- + インドネシア生産アイテム絞込みによる生産性向上
- + シートコスメの内製化促進による売上原価率低減効果
- 海外への積極的なマーケティング投資継続
- 為替(現地通貨安)の影響による海外利益の円換算額減

6-2. 2017年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	2017/3期						2016/3期	
	通期			第2四半期			実績	
	業績予想	増減額	同期比	業績予想	増減額	同期比	通期	第2四半期
売上高	76,800	1,721	102.3%	41,600	▲341	99.2%	75,078	41,941
営業利益	7,400	805	112.2%	4,400	▲954	82.2%	6,594	5,354
経常利益	7,900	484	106.5%	4,700	▲1,112	80.9%	7,415	5,812
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,000	▲1,383	78.3%	2,900	▲3,115	48.2%	6,383	6,015

6. 2017年3月期 通期業績見通し

6-3. 2017年3月期 主要費目別業績予想 増減額内訳(対前期)

(単位：百万円)

